

価値創造へのアプローチ

主な開発パイプライン

MT-1303 (amiselimod)

ライセンス契約を締結 (2019年4月)	<ul style="list-style-type: none"> ● ボッシュ・ヘルス・カンパニーズに日本およびアジアの一部を除く全世界における開発、販売を独占的に行う権利を許諾 (ただし、「神経疾患・膠原病およびその他特定の希少な皮膚疾患」の領域は除く) ● ボッシュ・ヘルス・カンパニーズの100%子会社サリックス・ファーマシューティカルズは、潰瘍性大腸炎のグローバル開発を開始する予定
今後の当社の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● サリックス・ファーマシューティカルズが実施する臨床試験データを活用し、当社テリトリーでの承認申請および販売 ● 自社による神経疾患・膠原病等の疾患領域でのグローバル開発

後期開発入りをめざす品目

品目	対象疾患	アンメット・メディカル・ニーズ ^{*1}	2019年度の予定
MT-8554	血管運動神経症状 (VMS)	ホルモン補充療法は安全性の課題が報告されており、有効かつ安全な薬剤が望まれている	フェーズ2試験終了 フェーズ3試験開始に向け FDA相談を準備中
MT-3995	非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH)	複合的な要因で進展する疾患であり、最終的に肝硬変や肝臓がんに至るリスクがあるが、治療薬が存在しない	2019年度2QにPoC ^{*2} 試験結果取得
MT-7117 ^{*3}	赤芽球性プロトポルフィリン症 (EPP)	現在、米国では標準的な治療法がなく、経口の開発品も存在しない 日光への暴露を避ける予防法があるのみ	2019年度3QにPoC試験結果取得

^{*1} 有効な治療法、医薬品がなく、未だに満たされない医療上のニーズ。

^{*2} Proof of Conceptの略、コンセプトの実証。研究開発の段階にある新薬候補物質において、その有効性及び安全性がヒトで確認されること。

^{*3} FDAよりファストトラック指定済。

モダリティ・デジタル変革

病気の診断から治療期間、さらには予後に至るまでの「治療の道のり(ペイシェントジャーニー)」を踏まえた医療ニーズの解析により創薬ターゲットを模索します。さらに新たな価値を持つ医薬品・医療サービスを最速でお届けするために、パートナーとの協業による新たなモダリティの獲得や、AI(人工知能)の活用による治験デザインの効率化を推進していきます。

モダリティを活用

従来の低分子や抗体に加え、さまざまなモダリティにも注力。新たなモダリティはパートナーリングによる充足を加速します。



AIを活用

情報/データ収集を支援するAIと、治験デザインを支援するAIを組み合わせることにより、臨床開発業務を効率化します。

